

上田交通別所線存続に関する陳情

要旨

貴社が経営・運行されております「別所線」に関しまして、昨今の社会情勢の中、逼迫された現状に立ち向かわれている事に、それを享受する利用者といたしまして、敬意と感謝の念を抱かずにはいられません。

しかしながら、現状を鑑みられ、営利企業としては至極当然の判断を下されようとされている中、結果、その影響が余りにも大きい事を、私達、市民有志は痛切に感じました。

そこで、ここに「別所線」の存続について、その可能性を探り、よりよい状況へ向かうようご検討される機会を設けて頂けるよう陳情いたします。

理由

私たちは、市民の立場から別所線存続のため、積極的に自らが行動し、サポートする会である『別所線の将来を考える会』の発足を、去る平成十五年十二月二七日に致しました。

それは、報道等で「別所線」自体の存続が焦点となり、既に「願い」や「夢」といった重要ではありますが、具体的な動きとは言えないものについて議論を重ねる時期は過ぎたと感じました。そこで、実際に「行動」する有志活動が急務であると私達は考えたからです。

そのために、私達は行動の指針を以下にまず示します。

- ①市民が乗りたくなるしかけを提案します
- ②別所線を支えるさまざまな市民サポーターを募ります
- ③存続のキーポイント（公共交通・運賃・観光・15億円の安全対策費・市民サポーターという視点）の勉強会をします

そして、関係各所で実施されています別所線存続の財政支援策を実りあるものにするには、やはり私達が乗ることであると考え、市民サポーターとしての当会の視点で、いたずらに経費をかけるような物ではなく、地道かつ着実な活動で、最大限の効果を引き出せるよう、以下の点についての実現を考え、「市民が乗りたくなるような楽しい別所線」の実現に向けて提言致します。

- 初詣などは、別所線で行こう
- 自転車や車イスも乗れるようにしましょう
- 土・日・祝日限定のファミリーキップを販売しましょう
- 車内ギャラリーやコンサートもやれるようにしよう
- 大学前駅や別所温泉駅の「パーク&ライド」を使おう
- 全駅に共用自転車を用意し、そのメンテナンスサポーターになろう
- 観光案内・民話・鉄道マニア・送迎などのボランティアをやろう
- 駅舎を青空市場にしたり、市民グループ交流センターにしよう
- 昼間（午前10時～午後4時）の格安回数券を販売しよう
- 定期券や回数券を大学や公的施設でも販売しよう
- 別所温泉協同浴場入浴券付きの格安往復キップを販売しよう
- 循環バスなどとの乗り継ぎがわかる時刻表をつくろう

平成十六年一月九日

上田交通株式会社
代表取締役社長 近藤 佳男 様

陳情者

上田市中之条101-1 利幸第二ビル 201
別所線の将来を考える会 代表 竹田 貴一